

# 新・荒尾市民病院

## NEW ARAO MUNICIPAL HOSPITAL

### 令和5年度末の開院を目指す



新病院の建設にあたり、建設計画の基本となる建築概要、配置計画、平面計画などを主な内容とする『基本設計』がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

なお、この概要は今後の実施設計及び施工の段階で一部変更することもありますので、あらかじめご了承下さい。

#### 建築概要

- ① 名称  
(仮称)荒尾市立有明医療センター
- ② 病床数 274床  
・一般210床・回復期42床  
・HCU12床・救急10床
- ③ 建築面積 8,935.85㎡
- ④ 延床面積 26,203.87㎡  
(内 新病院棟 22,045㎡)
- ⑤ 構造・階数  
鉄筋コンクリート造・免震  
(地下1階・地上5階・ヘリポート)

※ 新病院開院後、解体・駐車場整備等を行います。

#### 工事中の環境配慮

周辺住民等への騒音・ほこり等の対策について、防音・防塵等の対応を行う計画。

#### 熊本大学医学部研究施設の誘致

認知症コホート研究事業や、人材育成を目的に、「熊本大学医学部研究室分室」の誘致を図る。

#### バスの乗入れ

新病院では正面玄関前にバス停を整備。快適にアクセス可能。



#### 敷地内の動線を分離

患者動線、救急動線、スタッフ動線を明確に分離。敷地内において交通事故等が発生しない計画。



#### 駐車台数 524台確保

患者・スタッフ用合わせて524台の駐車場を整備。ピーク時においても十分な駐車スペースを確保できる計画。工事期間中も患者等への駐車スペースを確保しながら建設する計画。

#### 全個室型一般病棟の整備



プライバシーに配慮した全個室型病棟。感染症対策にも効果を発揮

#### 分かりやすい外来の整備



初めての患者や、待ち環境にも配慮した分かりやすい外来ブロック

#### 医療機能の充実

- ・災害拠点病院の指定
- ・地域救命救急センターの指定
- ・患者サポートセンターの設置
- ・歯科口腔外科の開設
- ・ロボット手術へ向けた対応
- ・熊本大学医学部研究分室誘致

#### ワンフロア外来の整備



全ての診療がワンフロアで完結。患者の移動負担軽減と効率的な診療を可能とする計画

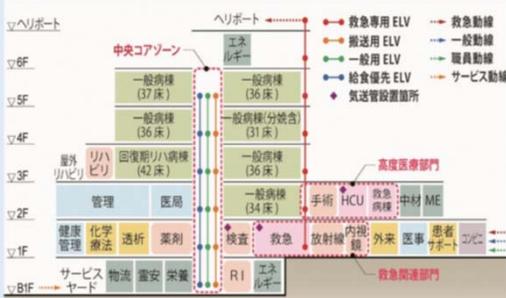
#### 救急・災害に迅速に対応

##### ○救急医療

救急においては、緊急時にも対応できる体制を確立。屋上ヘリポートと救急・手術を直結。

##### ○災害対応

免震構造を採用することにより、災害発生時においても医療行為の継続が可能。



#### 概算事業費

#### 総事業費：約147億円

- ・設計・管理費：約3.5億円
- ・用地補償費：約4.5億円
- ・工事費：約120億円
- ・医療機器購入費：約19億円

#### 工事スケジュール

- 設計完了：令和2年度末
- 新病院着工予定：令和3年度当初
- 新病院開院予定：令和5年度末**
- 旧病院解体・駐車場整備：令和7年度迄

※ 基本設計の詳しい概要は市民病院ホームページに掲載しております。